消防年報

令和6年版



枕崎市消防本部

刊行:令和7年

はじめに

この年報は、枕崎市消防本部の消防現勢及び消防業務に関する諸般 の事項について、主に令和6年中又は令和6年度中の消防事情を紹介 するとともに、将来の参考に資するために編集したものであります。

令和7年7月

枕崎市消防本部

自然環境

人口・世帯



管轄面積 74.78km



管轄市 枕崎市



人口 18,681人



世帯数 10,274世帯

消防予算

構成・人事



消防予算額 473,560千円



署数 消防署 1



職員数 定数 44人 実数 44人(2)※



消**防団員数** 定数 260人 実数 253人

機械•施設



消防車等 タンク車 1台 ポンプ車 1台 水 槽 車 1台



特殊車両等 屈折はしご車 1台 救助工作車 1台 その他の車両 2台



救急車 高規格救急車 2台 予 備 車 1台



消防水利 消火栓 215基 防火水槽 122基 (基準水利)

火災救急助

(令和6年中)



火災件数10件死者1名負傷者1名損害額38,351千円



出火原因救急出場1位 不明出場件数1,333件2位 電灯、電話等の配線 搬送件数1,248件3位 その他搬送人員1,256人



救助出動 出動件数 13件 活動件数 9件 救助人員 13人

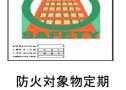
予 防 危 険 物



防火対象物 特定防火対象物 195件 非特定防火対象物 520件



危険物施設 貯蔵所 71件 取扱所 40件 製造所 1件



点検報告制度 特例認定事業所 4件 定期点検報告事業所 21件



防火クラブ 幼年消防クラブ 3 婦人防火クラブ 5

※職員数()内は再任用職員

目光	X		
1	総括		
	1	消防本部の位置と地勢・・・・・・・・・・・・ 1	
	2	消防本部の発足・・・・・・・・・・・・・・ 1	
	3	面積及び人口、世帯数・・・・・・・・・・・ 1	
	4	位置及び配置図 ・・・・・・・・・・・・・・ 2	
	5	the state of the s	5
		応援協定締結状況・・・・・・・・・・・・・・6	O
0	6 vn 🚧		
2		· 財政	
	1	消防本部の組織・・・・・・・・・・・・・・ 7	
	2	. 2224 .	9
	3	予算額 ・・・・・・・・・・・・ 10	
3	人員	及び機材等	
	1	消防職員の配置状況 ・・・・・・・・・・・ 11	
	2	職員の勤続年数 ・・・・・・・・・・・・・・・ 12	
	3	職員の階級別年齢 ・・・・・・・・・・・・ 12	
	4	職員の所属別年齢・・・・・・・・・・・・・・ 12	
	5	消防車両 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 13	
	6	特殊機材器具 ・・・・・・・・・・・ 13	
	7	通信連絡系統図・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14	
	8	水利の現況 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	9	学校教養実施状況 ・・・・・・・・・ 15	
		資格取得状況 · · · · · · · · · · · · · · · 15	
4	予防	5・危険物	
	1	防火対象物数 (150㎡以上) ・・・・・・・・・ 16	
	2	中高層建築物 ・・・・・・・・・・・・・・ 17	
	3	建築確認同意及び通知事務処理状況(一般住宅含む)・・・ 18	
	4	用途別建築確認同意事務処理状況 ・・・・・・・ 18	
	5	各種工場(地場産業関係)・・・・・・・・・・ 19	
	6	訓練指導状況 ・・・・・・・・・・・・・・ 19	
	7	各種届出処理状況 ・・・・・・・・・・ 19	
	8	危険物許可数量 ・・・・・・・・・・・・ 19	
	9	危険物施設数 ・・・・・・・・・・・・・・・20	
	10		
	11		
_		煙火消費許可事務処理状況 ・・・・・・・・・・ 20	
5	火災		
	1	火災発生状況 ・・・・・・・・・・・・・・・ 21	
	2	損害状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22	
	3	時間帯別火災発生状況 ・・・・・・・・・・・ 23	
	4	原因別出火件数 ・・・・・・・・・・・・・・ 23	
	5	覚知別火災件数 ・・・・・・・・・・・・・・・ 24	
	6	初期消火の状況・・・・・・・・・・・・・・・ 24	
6	救急	• 救助	
_	1	過去5年間の救急業務実施状況 ・・・・・・・・・ 25	
	2	時間帯別救急出場状況・・・・・・・・・・・・・・ 26	
	3	曜日別救急出場状況 ・・・・・・・・・・・・・・ 26	
	4	事故種別年齢区分別搬送人員・・・・・・・・・・・・・ 27	
	5	被搬送者の傷病程度 ・・・・・・・・・・・・・ 27	
	6	救急隊員の行った応急処置・・・・・・・・・・ 27	
	7	覚知種別出場件数 ・・・・・・・・・・・ 28	
	8	不搬送理由別件数 ・・・・・・・・・・・ 28	
	9	ドクヘリ出動要請件数 ・・・・・・・・・・・ 29	
	10	応急手当普及講習実施状況 ・・・・・・・・・ 29	
	11		
7	消防		
	1	枕崎市消防団の配置人員 ・・・・・・・・・・ 30	
	2	分団別年齢及び勤続年数・・・・・・・・・・・ 31	
	3	消防団車両一覧・・・・・・・・・・・・・・・32	
	J	10万日十月 見 02	

1 総 括

1 消防本部の位置と地勢

当消防本部は、鹿児島県の薩摩半島の最南端に位置し、東西約12km、南北約10kmで 総面積は74.78kmです。

枕崎市は、東部は南九州市知覧町、北部は南九州市川辺町及び南さつま市加世田、 西部は南さつま市坊津町に接し、南部は広大な東シナ海に臨む景勝の地にあり、その 形状はほぼ五角形です。

日本有数の遠洋漁業の基地として、古くから水産加工業が盛んで、中でも鰹節の生産量は日本一で、「枕崎鰹節」として全国に名を馳せています。

また、豊かな自然に恵まれ、品質の高いお茶、電照菊及びさつまいもを原料とした 焼酎の製造が盛んです。

2 消防本部の発足

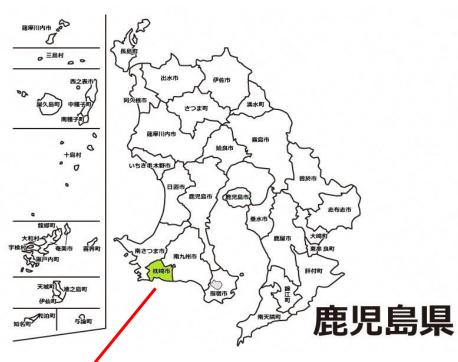
平成25年4月1日、南薩地区消防組合解散に伴い、単独消防本部として発足する。

3 面積及び人口、世帯数

枕崎市

面積(k㎡)	令和2年10月	令和2年10月	令和7年4月	令和7年4月
	国勢調査人口	国勢調査世帯数	住民基本台帳人口	住民基本台帳世帯数
74. 78	20, 052	9, 428	18, 681	10, 274

4 位置及び配置図







枕崎市消防本部•枕崎市消防署

鹿児島県枕崎市立神本町346番地

TEL 0993-72-0049(代表)

0993-72-9395

FAX 0993-73-2082(代表)

0993-72-0953

URL http://www.city.makurazaki.lg.jp/site/syoubouhonbu/

防災IP電話 2-388-2

区分名称	構造	延面積	完成年月日	敷地面積
枕崎市消防本部 枕 崎 市 消 防 署		1, 218. 47 m ²	昭和55年3月22日	3, 355. 33 m²

年 月 日

I mare	
概	要
TEA.	'/

平成 25 年 4 月 1 日 枕崎市消防本部発足 職員数42名 枕崎市長 神園征氏、副市長 久木田敏氏 消防長 中村責郎氏、消防署長 厚石賢太郎氏 就任 鹿児島県防災航空センター派遣 2名 枕崎市役所から消防団事務移管 軽広報車を譲り受ける 屈折はしご付消防車配備(平成25年3月28日納入) 枕崎市消防署 救助工作車配備(Ⅱ型) 12 月 24 日 平成 26 年 3 月 18 日 消火訓練車(けすぞう君)市総務課へ保管転換 消防長 中村責郎氏、消防署長 厚石賢太郎氏 退任 3 月 31 日 鹿児島県防災航空センター派遣解除 1名 4 月 1 日 消防長 三島洋台氏、消防署長 中原浩二氏 就任 鹿児島県防災航空センター派遣 1名 枕崎市人事異動により1名転入 4 月 14 日 救急救命士免許取得1名 7 月 18 日 九州救助指導会3位入賞 ロープブリッジ救出4名(全国大会出場枠獲得) 消防デジタル無線及び高機能簡易型指令システム運用開始 12 月 5 日 消防団小型ポンプ積載車6台配備 12 月 22 日 (団本部、塩屋、山﨑、茅野、金山、桜山東) 平成 27 年 2 月 1 日 鹿児島県防災航空センター派遣解除 1名 鹿児島県防災航空センター派遣 1名 3 月 1 日 総務省消防庁から救助資機材搭載型消防ポンプ車1台無償貸与 別府南分団へ配備 3月30日 枕崎市消防署 消防ポンプ車配備(CD-I型) 3 月 31 月 鹿児島県防災航空センター派遣解除 1名 4月1日 枕崎市職員定数条例を改正(職員数42名から43名) 鹿児島県消防学校教官派遣 1名 鹿児島県防災航空センター派遣 1名 枕崎市人事異動により1名転出、3名転入 消防団小型ポンプ積載車5台配備(板敷、下山、大塚、桜山西、木口屋) 12 月 11 日 平成 28 年 3 月 28 日 枕崎市消防署 高規格救急車配備 3 月 31 日 消防長 三島洋台氏 退任 4 月 1 日 消防長 中原浩二氏、消防署長 永留正文氏 就任 枕崎市人事異動により1名転出、2名転入 消防団小型ポンプ積載車6台配備 11 月 14 日 (田中、道野、東白沢、西白沢、駒水、真茅) 平成 29 年 3 月 31 日 鹿児島県防災航空センター派遣解除 1名 4月1日 鹿児島県防災航空センター派遣 1名 枕崎市人事異動により2名転出、2名転入 4 月 17 日 救急救命士免許取得 1 名

5月29日 消防団小型ポンプ1台配備(板敷)

平成 30 年 1 月 12 日 枕崎市消防署 アステラス製薬からの寄贈により高規格救急車配備 1 月 25 日 枕崎市長 神園征氏 退任 1 月 26 日 枕崎市長 前田祝成氏 就任 3月31日 鹿児島県防災航空センター派遣解除 1名 鹿児島県消防学校教官派遣解除 1名 3 月 31 日 枕崎市副市長 久木田敏氏 退任 4 月 1 日 枕崎市副市長 小泉智資氏 就任 鹿児島県防災航空センター派遣 1名 枕崎市人事異動により2名転出、1名転入 (職員数42名) 枕崎市消防署 枕崎ライオンズクラブからの寄贈により無人航空機 5 月 7 日 2機配備 7 月 23 日 消防団小型ポンプ2台配備(山崎、下山) 平成 31 年 2 月 13 日 枕崎市消防署 小型動力ポンプ付水槽車配備 3 月 31 日 消防署長 永留正文氏 退任 鹿児島県防災航空センター派遣解除 1名 4 月 1 日 消防署長 俵積田一豊氏 就任 鹿児島県防災航空センター派遣 1名 枕崎市人事異動により3名転出、3名転入 (職員数42名) 4 月 25 日 救急救命士免許取得1名 令和元年9月6日 消防団小型ポンプ2台配備(大塚、桜山西) 令和 2 年 3 月 24 日 木原地区消防センター完成 3月31日 鹿児島県防災航空センター派遣解除 1名 4月1日 鹿児島県防災航空センター派遣 1名 枕崎市人事異動により2名転出、2名転入 (職員数42名) 4 月 10 日 救急救命士免許取得1名 7月29日 屈折はしご付消防車オーバーホール 10 日 13 日 消防団小型ポンプ2台配備(真茅、茅野) 枕崎市消防署 女性用仮眠室工事完成 令和 3 年 3 月 31 日 消防長 中原浩二氏 退任 鹿児島県防災航空センター派遣解除 1名 4月1日 消防長 田中幸喜氏 就任 鹿児島県防災航空センター派遣 1名 枕崎市人事異動により5名転出、5名転入 (職員数42名) 4月30日 救急救命士免許取得1名 9月8日 消防団小型ポンプ1台配備(道野) 12 月 7 日 枕崎市消防署 高規格救急車配備 令和 4 年 3 月 10 日 枕崎市消防署 仮眠室個室化工事完成 救急資器材消毒洗浄室、医療廃棄物保管庫完成 4 月 1 日 枕崎市人事異動により1名転出、1名転入 (職員数42名) 5月18日 救急救命士免許取得1名 10月14日 消防団小型ポンプ1台配備(塩屋)

令和 5 年 3 月 14 日 消防団消防ポンプ車配備(中央分団、別府北分団)

令和 5 年 3 月 31 日 消防長 田中幸喜氏 退任

消防署長 俵積田一豊氏 退任

鹿児島県防災航空センター派遣解除 1名

4月1日 消防長 宮原 司氏 就任

消防署長 中原広次氏 就任

鹿児島県防災航空センター派遣 1名

枕崎市人事異動により5名転出、7名転入

再任用職員2名 (職員数44名)

4月27日 救急救命士免許取得1名

令和 6 年 1 月 26 日 消防団消防ポンプ車配備(立神分団、桜山分団)

2月13日 枕崎市消防署 日本消防協会からの寄贈により災害活動車配備

3月31日 鹿児島県防災航空センター派遣解除 1名

4 月 1 日 鹿児島県防災航空センター派遣 1名

枕崎市人事異動により3名転出、3名転入

再任用職員2名 (職員数44名)

5 日 9 土 救急救命士免許取得1名

11月27日 消防団消防ポンプ車配備(金山分団)

令和 7 年 4 月 1 日 枕崎市職員定数条例を改正(職員数43名から44名)

枕崎市人事異動により1名転出、1名転入

再任用職員2名 (職員数44名)

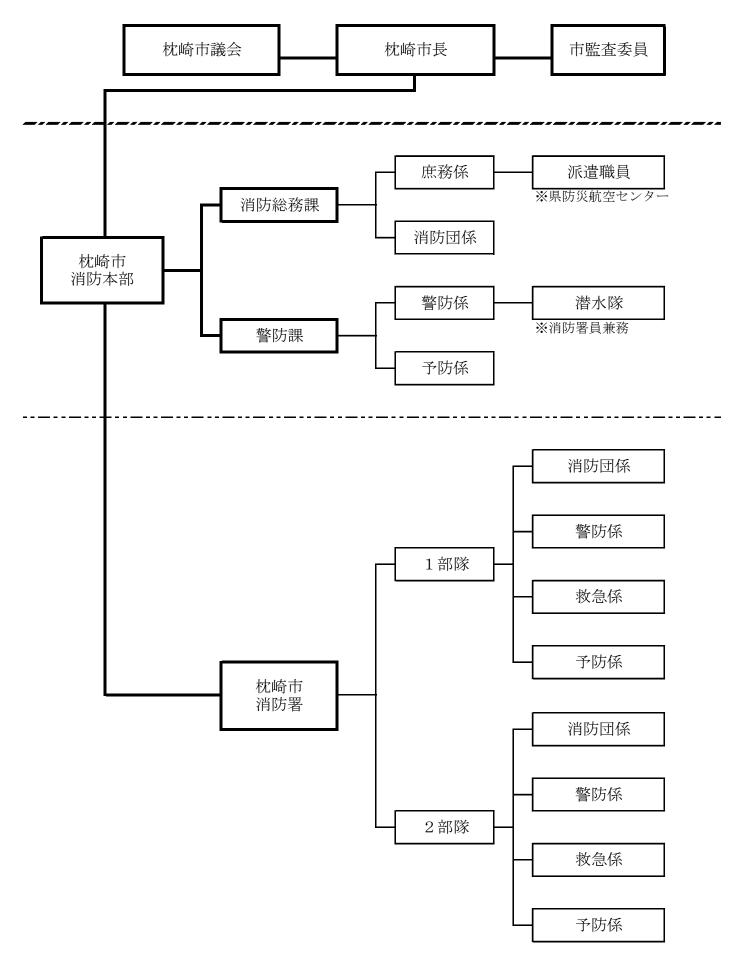
4月25日 救急救命士免許取得1名

6 応援協定締結状況

- * 鹿 児 島 県 内 消 防 相 互 応 援 協 定 平 成 30 年 12 月 20 日 大規模災害
- * 南 さ つ ま 市 消 防 本 部 平 成 25 年 4 月 1 日 消防・救急業務
- * 指 宿 南 九 州 消 防 組 合 平 成 25 年 4 月 1 日 消防・救急業務
- * 南 薩 土 地 改 良 区 平 成 25 年 4 月 1 日 緊急時消防水利使用に関する協定
- * 公 益 社 団 法 人 枕 崎 市 医 師 会 平 成 25 年 4 月 1 日 救急現場における救急医療活動に関する協定
- * 株 式 会 社 豊 留 建 設 平 成 25 年 4 月 1 日 事故発生時における応急対策業務に関する協定
- * 枕 崎 建 設 業 組 合 平 成 28 年 2 月 22 日 災害発生時における消防活動応援協定
- * 枕 崎 郵 便 局 平 成 28 年 10 月 1 日 行方不明捜索に係る協定
- * 加世田保健所 令 和 2 年 2 月 25 日 エボラ出血熱等患者等の移送に関する協定
- * 鹿児島生コンクリート協同組合 令 和 3 年 11 月 26 日 災害時における消防用水等の確保に関する協定
- * ファミリーマート畑野立神店 令 和 4 年 6 月 30 日 大規模災害等発生時における 応援出動に伴う食料等供給に関する協定

2 組織・財政





2 事務分掌

消防本部

(1) 消防総務課

庶務係

- (ア) 消防行政運営の総合調整に関する企画及び立案に関すること。
- (イ) 消防予算の編成と執行に関すること。
- (ウ) 消防本部及び消防署の組織に関すること。
- (エ) 消防職員の人事に関すること。
- (オ) 消防職員等の公務災害に関すること。
- (カ) 職員の福利厚生及び保健に関すること
- (キ) 消防本部の文書管理及び公印の保管に関すること。
- (1) 消防本部の情報公開及び個人情報保護に関すること。
- (ケ) 消防職員委員会に関すること。
- (コ) 消防職員の教養・研修に関すること。
- (サ) 消防本部の会議及び儀式に関すること。
- 行政財産の営繕管理に関すること。 (ŷ)
- (ス) 消防職員の被服及び貸与品に関すること。
- (セ) 消防職員の賞罰に関すること。
- (ソ) 消防年報及び消防統計に関すること。
- (タ) 外部機関との連絡調整に関すること。
- (チ) 前各号に掲げるもののほか、他の係に属しないもの。

イ 消防団係

- (ア) 消防団員の人事に関すること。
- (イ) 消防団員の賞罰に関すること。
- (ウ) 消防団員の被服及び貸与品に関すること。
- (エ) 消防団員の名簿の管理に関すること。
- 消防団員等の公務災害に関すること。 (*t*)
- 消防団員の福利厚生及び保健に関すること。 (₁)
- 消防団の運営、企画及び立案に関すること。 (+)
- (7) 消防団の会議及び儀式に関すること。
- 消防協会の事務に関すること。 **(**ケ)
- (コ) その他消防団に関すること。

(2) 警防課 ア 警防係

- (ア) 警防計画及び消防防災に関すること。
- (イ) 火災その他の災害の警戒及び防ぎょに関すること。
- (ウ) 消防水利及び地理に関すること。
- (エ) 消防職・団員の訓練に関すること。
- (オ) 消防機械器具の整備管理に関すること。
- (カ) 消防車両等の車検・管理に関すること。
- (キ) 消防相互応援協定に関すること。 (ケ) 潜水業務に関すること。
- (ケ) 武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律(平成16年法律第112号) に関すること。
- (a) 救急及び救助業務に関すること。 (†) 医療機関との連絡調整に関すること。
- (シ) 水火災その他の災害及び救急業務に係る受報及び出動指令に関すること。 (ス) 消防隊の統制的指揮運用及び応援要請に関すること。
- (t) 消防通信の計画、配置、運用及び改善並びに消防通信施設の維持管理に関すること。
- (ソ) 気象情報その他消防気象に関すること。
- (タ) 自主防災組織の訓練指導に関すること
- (f) 各種警報、情報及び非常招集の伝達に関すること。
- (ツ) 在宅老人緊急通報システムに関すること。
- (テ) 統計全般及び報告に関すること。
- (ト) その他警防に関すること。

イ 予防係

- (ア) 火災予防思想の普及に関すること。 (イ) 予防査察の企画及び実施に関すること。
- (ウ) 火災警報に関すること。
- (エ) 災害時要援護者の調査訪問指導に関すること。
- (オ) 消防用設備等の検査指導に関すること。
- (カ) 防火管理者の講習会及び指導に関すること。
- (キ) 枕崎市火災予防条例(平成25年枕崎市条例第20号)に定める火災予防業務に係る諸届出に 関すること。

- (ク) 火災予防上の法令、規則等に係る予防業務の届出等に関すること。
- (ケ) 建築物の同意事務に関すること。
- (1) 危険物の許認可、承認及び指導取締り並びに液化石油ガスの保全規則に関すること。
- 少量危険物、準危険物及び特殊可燃物の指導取締りに関すること。 (†)
- (シ) 火薬類(煙火)の消費許可等に関すること。
- (ス) 火災原因調査及び損害調査に関すること。
- 火災による災害及び消防事務諸証明に関すること。 (t)
- 防火委員会及び危険物安全協会に関すること。 (y)
- (4) その他予防に関すること。

消防署

(1) 消防団係

- ア 消防団員の被服及び貸与等に関すること。
- イ 消防団員の名簿の管理に関すること。
- 消防団員の福利厚生及び保健に関すること。
- エ 消防団の運営、企画及び立案に関すること。
- オ消防団の会議及び儀式に関すること。
- カ消防協会の事務に関すること。
- キ その他消防団に関すること。

- 火災その他の災害の警戒又は防ぎょに関すること。
- 消防水利及び地理に関すること。
- 消防団員の訓練に関すること。
- 消防機械器具の整備管理に関すること。
- 消防車両等の整備検査に関すること。 オ
- 消防用燃料の保管及び受払に関すること。
- 職員の訓練教育に関すること。 キ
- 水火災その他の災害及び救急業務に係る受報及び出動指令に関すること。
- 電話交換業務に関すること。
- 消防通信の計画、配置、運用及び改善並びに消防通信施設の維持管理に関すること。
- 通信勤務員の通信技術の訓練及び指導に関すること。
- 気象情報その他消防気象に関すること。
- ス 在宅老人緊急通報システムに関すること。
- 自主防災組織の訓練指導に関すること。
- 救助隊員の教育訓練に関すること。
- 救助機械器具の整備管理に関すること。
- 救助統計及び報告に関すること。 災害等の統計及び報告に関すること。 ツ
- テーその他警防に関すること。

救急係

- 救急に関すること。
- 救急隊員の教育訓練に関すること。
- 救急資機材の整備管理に関すること。
- エ 救急統計及び報告に関すること。
- オーその他救急に関すること。

- ア 火災予防思想の普及に関すること。
- 予防査察の企画及び実施に関すること。
- 災害時要援護者の調査訪問指導に関すること。
- エ 消防用設備等の検査指導に関すること。
- オ 枕崎市火災予防条例(平成25年枕崎市条例第20号)に定める予防業務に関する諸届出に 関すること。
- カ 火災予防上の法令規則等に係る予防業務の届出等に関すること。
- キ 建築物の同意事務に関すること。
- 少量危険物、準危険物及び特殊可燃物の指導取締りに関すること。
- 火薬類 (煙火) の消費許可等に関すること。 火災原因の調査及び損害調査に関すること。
- 火災統計及び報告に関すること。
- 火災による災害及び消防事務証明に関すること。
- ス 防火委員会及び危険物安全協会に関すること。
- セ その他予防に関すること。

3 予算額

令和7年度消防予算(当初予算)

消防費						(単位:千円)
項	· 目			節		予算額
消防費	473, 560)				
1 消防費	384, 418	3 1	報		西州	27, 660
		2	給		料	153, 816
		3	職員	手	当 等	99, 875
		4	共	済	費	52, 748
		7	報	償	費	35
		8	旅		費	2,740
		10	需	用	費	20, 706
		11	役	務	費	5, 944
		12	委	託	料	3, 860
		13	使用	料及び	賃借料	2, 557
		15	原材	料費		48
		17	備品	講え	入費	3, 769
		18	負担金	金補助	及び交付金	10, 057
		26	公	課	費	603
2 消防施設	没費 89, 142	2 10	需	用	費	45, 145
		12	委託	料		77
		14	工事	請負費	,	35, 477
		17	備品	講え	入 費	3, 069
		18	負担金	金補助	及び交付金	5, 374

[※] 常備・非常備消防予算額のみ掲示(水防費・災害対策費は計上せず。)

3 人員及び機材等



1 消防職員の配置状況

//			階級別	計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員
	糸	Š.	計	422(17)	1	3(3)	10(4)	62(2)	4(2)	18(6)	
		本部合計 8②(14)			1	2(1)	3(3)	12(2)	(2)	1(6)	
		消	防長	1	1						
			課長	1		1					
	消	,	庶務係長	1			1				
	防総務		庶 務 係	1)				1)			
消		洕	当防団係長	(1)		(1)					
防			消防団係	(4)			(2)		(1)	(1)	
		;	派遣職員	2			1			1	
本			課長	1		1					
部		-	警防係長	1			1				
	警防		警 防 係	1)				1)			
	課		潜水隊	(8)				(2)	(1)	(5)	
			予防係長	(1)			(1)				
		予防係		1				1			
			署合計	34(3)		1(2)	7(1)	5	4	17	
			署長	(1)		(1)					
			隊 長	1		1					
木	冘	1	警 防 係	4(1)		(1)		1		3	
Щ	奇	部	予防係	5			1	1		3	
Ī	Ħ	隊	救 急 係	5			1	1	1	2	
Ý	肖		消防団係	2			1			1	
[5	方		隊 長	1			1				
暑	昬	2	警 防 係	4(1)			1(1)			3	
		部	予防係	5			1	1		3	
		隊	救 急 係	5				1	2	2	
			消防団係	2			1		1		

※ ()は兼務 ○数字は再任用

2 職員の勤続年数

令和7年4月1日

= 19035 CO 20190 1 3X									
勤務年数 階級	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上 35年未満	35年以上	合計
消防司令長	1								1
消防司令						1	2		3
消防司令補					2	2	6		10
消防士長			4		1	1		2	62
消防副士長			4						4
消防士	11	7							18
その他職員							_		0
合 計	12	7	8	0	3	4	8	2	42②

3 職員の階級別年齢

令和7年4月1日

年齢階級	18歳 (20歳	21歳 ~ 25歳	26歳 ~ 30歳	31歳 ~ 35歳	36歳 ~ 40歳	41歳 ~ 45歳	46歳 ~ 50歳	51歳 ~ 55歳	56歳 以上	合計
消防司令長									1	1
消防司令								2	1	3
消防司令補					1	1	5	2	1	10
消防士長				3	2	1			2	62
消防副士長			3	1						4
消防士	3	10	5							18
その他職員							_			0
合 計	3	10	8	4	3	2	5	4	32	42②

4 職員の所属別年齢

令和6年4月1日

	年齢	18歳	21歳	26歳	31歳	36歳	41歳	46歳	51歳	E04F	
		>	>	>	>	>	>	>	>	56歳 以上	合計
所属		20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	公工	
消防	本 部						1	1	3	12	62
消	方 署	3	10	7	4	3		4	1	2	34
県	派 遣			1			1				2
合	計	3	10	8	4	3	2	5	4	12	42②

平均年齢 35.0歳 (36.3歳)

5 消防車両

令和7年4月1日

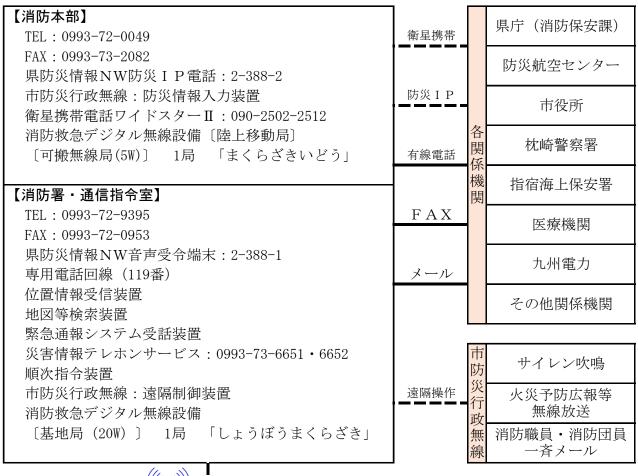
配置	車		名	登録年月	排気量	級・型	ポンプ	定員	車	齢	車種
	指	揮	車	令和6年2月	2, 690			10	1年	2月	トヨタ
	タ	ンク	車	平成22年3月	6, 400	モリタA-2	2段タービン ME5	6	15年	1月	日 野
沿	ポ	ンプ	車	平成27年3月	4,000	モリタCD-1	2段タービン	5	10年	1月	日 野
消防本部	救	助工作	1 車	平成25年12月	6, 400	Ⅱ型		5	11年	4月	日 野
部 • 枕	屈	折はし	ご車	平成25年3月	8,860	25m級		6	12年	1月	日 野
崎 市	水	槽	車	平成31年2月	8,860	小型B-2	シバウラ FZ 700	2	6年	2月	日 野
消防署	救	急	車	平成28年3月	2,690	高規格		7	9年	1月	トヨタ
有	救	急	車	令和3年12月	2, 480	高規格		7	2年	3月	日 産
	救急	急車(予備	車)	平成30年1月	2,690	高規格		7	7年	2月	トヨタ
	隊	員 輸 遠	き 車	平成28年12月	1,980			8	8年	4月	トヨタ

6 特殊機材器具

令和7年4月1日

機器材	数量	機器材	数量	機器材	数量
空気呼吸器	13	エンジンカッター	1	人工呼吸器	3
酸素呼吸器	5	チェーンソー	1	除細動器	6
陽圧式化学防護服	2	空 気 鋸	1	自動式心マッサージ器	2
ガス検知器	1	空気切断機	1	放射線測定器	8
簡易画像探索器	1	ガス溶断器	1	オイルフェンス20 m	4
携帯警報機	10	可搬ウインチ	2	救 命 索 発 射 銃	1
潜水器具一式	6	マット型空気ジャッキ	1	発 電 機	4
救 命 胴 衣	13	電動油圧救助器具	3	救 助 用 縛 帯 サバイバースリング	8
救 命 浮 環	5	救助用支柱器具	1	車 両 移 動 器 具	1
救命ボート船外機付	1	バスケット型担架	2	熱 画 像 直 視 装 置	2

7 通信連絡系統図



無線通信

	$\overline{}$	
	消防救急デジタル無線認	设備〔陸上移動局〕
	【消防署】	【消防団】
〔車載無線局(5W)] 9局	〔車載無線局(5W)〕 9局
タンク車	「しょうぼうまくらざき1」	【団本部】
ポンプ車	「しょうぼうまくらざき2」	軽積載車 「しょうぼうまくらざき7」
救助工作車	「しょうぼうまくらざき3」	防災活動車 「しょうぼうまくらざき8」
指揮車	「しょうぼうまくらざき4」	【各分団】
屈折はしご車	「しょうぼうまくらざき5」	中央分団 「しょうぼうまくらざき51」
水槽車	「しょうぼうまくらざき6」	別府南分団 「しょうぼうまくらざき52」
高規格救急車	「きゅうきゅうまくらざき1」	別府北分団 「しょうぼうまくらざき53」
高規格救急車	「きゅうきゅうまくらざき2」	金山分団 「しょうぼうまくらざき54」
救急予備車	「きゅうきゅうまくらざき3」	桜山分団 「しょうぼうまくらざき55」
		立神分団 「しょうぼうまくらざき56」
〔携帯無線局(2W)	〕 12局	木原分団 「しょうぼうまくらざき57」
「しょうぼうまく	、 くらざき11~20」 10局	
「きゅうきゅうき	まくらざき11~12」 2局	○デジタルトランシーバー
	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	〔簡易無線登録局(5W)〕 62局
※ 基地局は、活動	カ波1及び活動波2のみ実装	

- ※ 陸上移動局(可搬無線局、車載無線局、携帯無線局)は、活動波1及び活動波2に加えて、 主運用波3波(県波)を含む主運用波全波及び統制波3波を実装

区分	消火栓	基準水利	防火水槽	基準水利	合計
設 置 数	395	215	173	122	568

9 学校教養実施状況

令和7年4月1日

			消	防大学	校			県消防学校							救
区分	警防科	救助科	予防科	火災調査科	隊長コース隊教育科航空緊急消防援助	救急科	幹部科	予防査察科	火災調査科	救急科	救助科	警防科	初級幹部科	中級幹部科	急救命研修所
消防本部	2		2		2	1	1	3	4	9	7	1	2	2	3
消防署		1		1	3	1		7	6	29	11	3	5	1	10
合 計	2	1	2	1	5	2	1	10	10	38	18	4	7	3	13

10 資格取得状況

令和7年4月1日

	自	動車免	許								陸	ア			
区分	大型	大型特殊	けん引	救急救命士	指導救急救命	予防技術者	潜水士	一級自動車整備士	安全衛生推進者	第三級総合無線	医上特殊無線技師	、マチュア無線技師	小型船舶操縦士	危険物取扱者	消防設備士
消防本部	9	1	1	3	1	2	6	1	4		6	3	2	7	
消防署	22	1		14	3	6	16		2	1	10	1	5	23	1
合 計	31	2	1	17	4	8	22	1	6	1	16	4	7	30	1

区分	玉掛技能講習	運転技能講習小型移動式クレーン	ボイラー 技師	ガス溶接	作業主任 特定化学物質等	危険作業主任者 酸欠・硫化水素	安全運転管理者	緊急自動車運転	航空特殊無線技士	ロープ高所作業	墜落防止用器具
消防本部	5	6		2	1		3			2	2
消防署	13	13	1	2	2	1		2	1	2	3
合 計	18	19	1	4	3	1	3	2	1	4	5

4 予防・危険物



1 防火対象物数(150㎡以上)

		防火対象物の区分	対象物数
1	イ	劇場,映画館,演芸場,又は観覧場	2
1	ロ	21	
	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他類するもの	
2	П	遊技場又はダンスホール	3
2	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗	
	<u> </u>	カラオケボックス等これらに類するもの	2
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	
3	口	飲食店	10
	4	百貨店その他の物品販売業を営む店舗,又は展示場	33
5	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	11
ο	口	寄宿舎,下宿又は共同住宅	94
	イ	病院,診療所又は助産所	15
6	口	養護老人ホーム,有料老人ホームその他類するもの	14
0	ハ	老人デイサービス,老人福祉センターその他これらに類するもの	19
	<u> </u>	幼稚園,特別支援学校	2
	7	小、中、高等学校、大学、各種学校その他類するもの	64
	8	図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	2
0	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場その他類するもの	
9	口	上記以外の公衆浴場	1
1	0	車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	
1	11	神社、寺院、教会その他これらに類するもの	10
12	イ	工場又は作業場	161
12	П	映画スタジオ又はテレビスタジオ	
13	イ	自動車車庫又は駐車場	6
13	口	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	2
1	14	倉庫	98
1	15	前各項に該当しない事業所	70
16	イ	1項~4項,5項イ,6項,9項イが存する複合対象物	63
10	口	上記以外の複合対象物	12
		合 計	715

	区	分	三階	四 階	五階	六 階	七 階	八 階
1	イ	劇場,映画館,演芸場,又は観覧場						
1	ロ	公会堂又は集会場	1					
	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他類するもの						
0	ロ	遊技場又はダンスホール	1					
2	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗		N		N		
	<u> </u>	カラオケボックス等これらに類するもの						
9	イ	待合、料理店その他これらに類するもの						
3	ロ	飲食店	2	1				
2	4	百貨店その他の物品販売業を営む店舗,又は展示場						
۲	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	4	4				
5	口	寄宿舎,下宿又は共同住宅	60	2	1	N		
	イ	病院,診療所又は助産所	5	2		1		1
c	ロ	養護老人ホーム,有料老人ホームその他類するもの	2					
О	ハ	老人デイサービス,老人福祉センターに類するもの						
	<u> </u>	幼稚園,特別支援学校						
,	7	小、中、高等学校、大学、各種学校その他類するもの	16	1				
8	3	図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	1					
0	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの						
9	口	上記以外の公衆浴場						
1	0	車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場						
1	1	神社、寺院、教会その他これらに類するもの						
12	イ	工場又は作業場	23	7				
14	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ						
13	イ	自動車車庫又は駐車場						
19	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫						
1	4	倉庫	1					
1	5	前各項に該当しない事業所	12	2				
16	イ	1項~4項,5項1,6項,9項1が存する複合対象物	19	6				
10	口	上記以外の複合対象物	5					
		合 計	152	25	1	1		1

3 建築確認同意及び通知事務処理状況(一般住宅含む) 今和6年度中

区 分	新 築	用途変更	増 築	改築	合 計
件数	13 (26)		3 (1)		16 (27)

※ () 内の数字は通知件数

4 用途別建築確認同意事務処理状況

令和6年度中

		防火対象物の区分	件数
1	イ	劇場,映画館,演芸場,又は観覧場	
1	ロ	公会堂又は集会場	
	イ	キャバレー,カフェー,ナイトクラブその他類するもの	
0	ロ	遊技場又はダンスホール	
2	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗	
	<u> </u>	カラオケボックス等これらに類するもの	
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	
3	口	飲食店	3
4	1	百貨店その他の物品販売業を営む店舗、又は展示場	1
5	イ	旅館,ホテル又は宿泊所	
Э	口	寄宿舎,下宿又は共同住宅	
	イ	病院,診療所又は助産所	
6	ロ	養護老人ホーム,有料老人ホームその他類するもの	
O	ハ	老人デイサービス,老人福祉センターその他これらに類するもの	1
	<u> </u>	幼稚園,特別支援学校	
7	7	小,中,高等学校,大学,各種学校その他類するもの	
8	3	図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場,熱気浴場その他類するもの	
3	口	上記以外の公衆浴場	
1	0	車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	
1	1	神社、寺院、教会その他これらに類するもの	
12	イ	工場又は作業場	2
12	口	映画スタジオ又はテレビスタジオ	
13	イ	自動車車庫又は駐車場	
10	口	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	
1	4	倉庫	5
1	5	前各項に該当しない事業所	4
16	イ	1項~4項,5項イ,6項,9項イが存する複合対象物	
10	口	上記以外の複合対象物	
		合 計	16

5 各種工場(地場産業関係)

令和7年4月1日

区	分	鰹 節 工 場	葉煙草乾燥場	製茶工場	合 計
件	数	58	1	38	97

6 訓練指導状況

令和6年度中

	区 分	回 数	延人員
	通報・避難・消火	129	4, 067
防火	防火講話	82	3, 043
	映画・ビデオ		

7 各種届出処理状況

令和6年度中

区分	件数
消防用設備等点検結果報告	250
消防用設備等着工届	12
消防用設備等設置届	33
露 店 等 の 開 設 届	20
催 物 開 催 届	1
煙火打上届	42
少量危険物貯蔵取扱届	7
道 路 工 事 届	72
水素ガスを充填する気球の届	
火災とまぎらわしい行為の届	41
発電・蓄電・変電設備設置届	5
炉・かまど・ボイラー設置届	4

8 危険物許可数量

令和7年4月1日

区分(第4類)	第1石油類	第2石油類	第3石油類	第4石油類	合 計
	(KL)	(KL)	(KL)	(KL)	(KL)
数量	297. 65	603. 99	1, 380. 37	27. 40	2, 309. 41

	取扱所					貯蔵所							
給油	第一種販売	第二種販売	一般	小 計	屋内	屋 外	屋内タンク	屋外タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	小 計	合計
25			15	40	4	1	1	37	18		9	70	110

10 数量別危険物施設数

令和7年4月1日

	取扱所			貯蔵所									
区分	給	油		小			屋内	屋 外	地下	簡易	移動	ds	合
倍数	自家用	営業用	般	計	屋内	屋外	P タンク	ハタンク	「タンク	あ タンク	野タンク	小計	計
5倍以下		1	6	7	2	1	1	21	9		9	43	50
5倍越え10倍以下	4		4	8				6	7			13	21
10倍越え50倍以下	4	3	5	12	2			8	2			12	24
50倍越え100倍以下	1	3		4				1				1	5
100倍越え150倍以下		4		4				1				1	5
150倍越え200倍以下		2		2									2
200倍越え1000倍以下		3		3									3
1000倍越え5000倍以下													
合 計	9	16	15	40	4	1	1	37	18		9	70	110

11 許認可等事務処理状況

令和6年度中

		処理区分	許	可	仮使用	完成	検査	廃止届	合 計
施設区	区分		設 置	変更	似使用	設 置	変更	廃	
取 扱	給	油		1	1	1	2		5
所	_	般						1	1
	屋	内	1					1	2
貯	屋	外							
蔵	屋内	リタンク							
鼤	屋夕	トタンク						1	1
所	地下	ドタンク		1				2	3
	移重	カタンク				1			1
	合	計	1	2	1	2	2	5	13

12 煙火消費許可事務処理状況 令和6年度中

処理件数 2

5 火 災



1 火災発生状況

	区	分	火		災	件		数	焼	損 面	積
	<u>~</u>),		建	林	車	船	そ	建物	(m²)	林
年月			計	物	野	恒	舟白	の他	床	表	野 (a)
	1	月									
	2	月									
	3	月	1	1					134. 0		
	4	月									
	5	月									
令	6	月									
和 6	7	月	2	2					317. 0		
年	8	月	2					2			
	9	月	2					2			
	10	月									
	11	月	2	2					6.0		
	12	月	1					1			
	合	計	10	5				5	457. 0		
令 和	5	年	11	4		1		6	18. 3	166. 0	
令 和	4	年	11	4		1		6	178. 4		
令 和	3	年	17	5				12	349. 0		
令 和	2	年	8	2				6	290. 0	0. 1	

令和2年~令和6年

2 損害状況

_																
	\	区分	焼	. 損	棟	数	損	害	:	額	(Ŧ	-円)	罹	災	死	負
		<i>)</i> ,	全	半	部	ぼ		建	林	車	船	そ	世	人		傷
年	Ē				分		計					0)	帯		- ₩.	-1 •∕.
月			焼	焼	焼	や		物	野	両	舟白	他	数	Щ	者	者
	1	月														
令	2	月														
1,1	3	月	1		1	1	3, 593	3, 454		139			1	1	1	
	4	月														
和	5	月														
不口	6	月														
	7	月	2			1	34, 887	34, 757		130			1	2		
5	8	月					2					2				
	9	月					2					2				
	10)月														
年	11	. 月				2	6	6					1	3		1
	12	2 月														
	É	合計	3		1	4	38, 490	38, 217		269		4	3	6	1	1
令:	和	5 年			2	2	11, 936	11, 936								
令	和	4 年			1	2	700	700					2	6		
令	和	3 年	2		1	4	2, 866	2, 509		350		7	4	6		2
令:	和	2 年	1	1	1	2	20, 346	20, 320				26	2	4		

3 時間帯別火災発生状況

令和6年中

区	時間帯分	0 ¿ 2	2 \(\) 4	4	6	8 \(\) 10	10 < 12	12 <a href<="" th=""><th>14</th><th>16 <a href<="" th=""><th>18 </th><th>20 22</th><th>22 22 24</th><th>不明</th><th>合計</th></th>	14	16 <a href<="" th=""><th>18 </th><th>20 22</th><th>22 22 24</th><th>不明</th><th>合計</th>	18 	20 22	22 22 24	不明	合計
建	物			1			1	1	1		1				5
林	野														
車	両														
船	舟白														
そ	の他				1		1		2					1	5
合	計			1	1		2	1	3		1			1	10
発生	率(%)			10.0	10.0		20.0	10.0	30. 0		10.0			10.0	100

4 原因別出火件数

区 分 原 因	件数	発生率 (%)	区 分原 因	件数	発生率 (%)
たばこ	1	10.0	交通機関内配線		
こ ん ろ			火 遊 び		
かまど			マッチ・ライター		
風呂かまど			たき火	1	10.0
炉			溶接機・切断機		
焼 却 炉			灯 火		
ストーブ			衝 突 の 火 花	1	10.0
こたっ			取 り 灰		
ボイラー			火 入 れ		
煙 突 煙 道			放 火		
排 気 管	1	10. 0	放火の疑い		
電気機器			そ の 他		
電気装置	1	10. 0	不明調査中	3	30. 0
電灯電話等配線	2	20. 0			
内 燃 機 関					
配 線 器 具			合 計	10	100

5 覚知別火災件数

令和6年中

	専	専	専	加	加	警	駆	事	そ	13.414.0
	用電	用	用	入	入					
	話	電話	電	電	電	察	け	後		
区分	N T		話	話	話	XX	• • •		の	合 計
	Т	N T	~	$\overline{}$					V	
	固 定	T 固	携	固	携	電	付	聞		
	以外	定	帯	定	帯					
		\smile	\smile	\smile)	話	け	知	他	
件数			8		1			1		10

※ ()内は通報者側

6 初期消火の状況

区分	器具・方法	水バケツ	水槽	乾燥砂	各種消火器	各種消火設備	水をかける水道、浴槽、	等をかけた	し	その他	合 計	率 (%)
字歩した	成功				2			1			3	30. 0
実施した	不成功	2					2				4	40. 0
実が		<u> </u>		<u> </u>		3				3	30. 0	

6 救急・救助



1 過去5年間の救急業務実施状況

令和2年~令和6年

							土	ļ	場		件		数		0	<u>和2年</u> 大		訳
$ \setminus$	\ \	公分	出場	搬送	不搬	搬送	火	自	水	交	労	運	_	加	自	急	そ	合
			件	件	送件	人	災事	然災	難事	通事	働災	動競	般負	害事	損行		0	
年月	1	\setminus	数	数	数	員	故	害	故	故	害	技	傷	故	為	病	他	# <u></u>
	1	月	129	124	5	124				8			24		1	71	25	129
令	2	月	108	103	5	103				10	1		11	1	1	57	27	108
13	3	月	90	84	6	85				1	1	2	14		1	55	16	90
	4	月	84	80	4	80				4			19			39	22	84
和	5	月	102	99	3	99				5	3	1	13			48	32	102
714	6	月	100	95	5	96				6	1		15			50	28	100
	7	月	139	128	11	129				5	3	2	21		1	79	28	139
6	8	月	123	109	14	111		1		3	1		18			79	21	123
	9	月	108	103	5	106				7	3	1	16	1		55	25	108
	10	月	105	102	3	102				4	1		11	1	3	59	26	105
年	11	月	102	94	8	94	1			4	1		18			54	24	102
	12	月	143	127	17	127				11			17	1		85	29	143
	合	計	1, 333	1, 248	86	1, 256	1	1		68	15	6	197	4	7	731	303	1, 333
令	和 5	年	1, 199	1, 133	66	1, 135				46	14	3	166	2	6	698	264	1, 199
令	和 4	年	1, 269	1, 207	62	1, 213	4		1	52	17	5	152	3	9	693	333	1, 269
令	和 3	年	1, 127	1, 082	45	1, 083	2		2	66	15	4	156	1	3	585	293	1, 127
令	和 2	年	1, 140	1, 098	42	1, 101			3	61	9	4	145	1	4	620	293	1, 140

2 時間帯別救急出場状況

令和6年中

時間帯 事 故 種 別	\ 2	2 5 4	4 5 6	6 \$ 8	8 5 10	10 \$ 12	12 \$ 14	14 \$ 16	16 \$ 18	18 \$ 20	20 \$ 22	22 \$ 24	合 計
火 災			1										1
自然災害		1											1
水難事故													
交通事故			1	6	8	14	8	8	8	7	5	3	68
労 働 災 害			1	4	2	1	1	5	1				15
運動競技						3	2	1					6
一般負傷	16	3	10	15	22	16	23	21	25	18	19	9	197
加害		1				1					2		4
自損行為	1	1		1						2	1	1	7
急病	23	22	33	65	91	104	70	78	74	80	47	44	731
その他	3	5	5	5	54	53	76	50	25	18	3	6	303
合 計 (件)	43	33	51	96	177	192	180	163	133	125	77	63	1, 333

3 曜日別救急出場状況

事 故 租 別	П	月	火	水	木	金	土	合 計
火 災						1		1
自然災害					1			1
水難事故								
交通事故	6	9	14	7	12	9	11	68
労働災害		3	2		1	6	3	15
運動競技	1	1					4	6
一般負傷	25	30	29	29	29	25	30	197
加害	1		1	1			1	4
自損行為	1		1	2		2	1	7
急 病	115	113	105	88	108	97	105	731
その他	16	54	46	58	37	64	28	303
合 計 (件)	165	210	198	185	188	204	183	1, 333

4 事故種別年齡区分別搬送人員

令和6年中

事故種別	火災	自然	水難	交通	労働	運動	一般	加害	自損	急	そ	合
区分	事	災	事	事	災	競	負	事	行		の	計
	故	害	故	故	害	技	傷	故	為	病	他	ПΠ
新生児											1	1
乳幼児				1			5			8		14
少 年		2		11		3	3	1		15	3	38
成人	1	1		22	11	2	29	2	2	125	33	228
高齢者				30	3		145		2	539	256	975
合 計	1	3		64	14	5	182	3	4	687	293	1, 256

5 被搬送者の傷病程度

令和6年中

事故種別区分	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般角傷	加害事故	自損行為	急病	その他	合計
死 亡												
重症				4	3	1	6		1	56	67	138
中等症	1			37	9	1	122	1	1	488	225	885
軽 症		3		23	2	3	54	2	2	143	1	233
その他												
合 計	1	3		64	14	5	182	3	4	687	293	1, 256

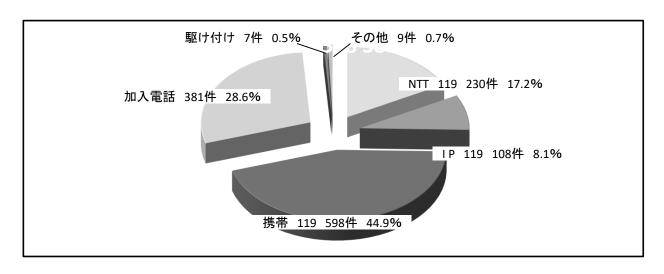
6 救急隊員の行った応急処置

	\ 処置	止	固	人	心	酸	気	保	被	そ	合
事故種別				エ	肺	素	道			の	
学 以作办	対象			呼	蘇	吸	確			V	
	人 人	<u>ш</u> .	定	吸	生	入	保	温	覆	他	計
急 病	721	5	1	15	8	154	35	12	6	3, 645	3, 881
交通事故	66	10	17			11	1	1		314	354
一般負傷	196	37	9		1	11	2	8	56	878	1,002
その他	326	6	11	1		77	2	2	10	1, 095	1, 204
合 計	1, 309	58	38	16	9	253	40	23	72	5, 932	6, 441

7 覚知種別出場件数

令和6年中

区分	事	故種別		自然災害	水難	交通 事故	労働 災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
1	固	NTT				3	3	1	40		1	178	4	230
1 9	定電	ΙP				1	2		21			82	2	108
専	話	計				4	5	1	61		1	260	6	338
用電	携	帯電話	1	1		55	8	5	115		5	403	5	598
話	力	、計	1	1		59	13	6	176		6	663	11	936
ナ	加入'i	電話				7	1		19	4		61	289	381
馬	沤け	付け					1		1			5		7
	その)他				2			1		1	2	3	9
	合	計	1	1		68	15	6	197	4	7	731	303	1, 333



8 不搬送理由別件数

事故種別区分	火災	自然 災害	水難	交通 事故	労働 災害	運動競技	一般	加害	自損行為	急病	その他	合 計
辞退(到着前)												
辞退(到着後)				7	1	1	10	1	1	20	3	44
拒 否				2			3			4		9
明らかな死亡										18		18
他車(隊)搬送							1					1
傷病者なし							1				3	4
誤報・いたずら										1	1	2
その他				1					2	1	4	8
合 計				10	1	1	15	1	3	44	11	86

9 ドクヘリ出動要請件数

令和6年中

		★ 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				イロ		LAn.	244				1407	<u> </u>
		耳故種別	火災	自然 災害	水難	現 交通 事故	場 労働 災害	搬運動競技	送 一般 負傷	加害	自損 行為	急病	施設 間 搬送	合計
	鹿	救 命				1	1		2			3	1	8
ĸ	児島市立	新生児												
ドクヘリ出動	<u> </u>	小 計				1	1		2			3	1	8
л У	鹿市	立以外				1	3					2	8	14
出動	I タ	ーン				2			1			1		4
397	出動後取消					5								5
	小	計				9	4		3			6	9	31
	出 動	前取消												
ドク	時間	外要請												
ドクヘリ未出動	天 候	不 良				1								1
未	重複	要請												
出動	そ	の他												
	計				1								1	
				10	4		3			6	9	32		

10 応急手当普及講習実施状況

令和6年中

区 分	回数	人数
普 通 救 命 講 習	5	115
救命入門コース	9	134
その他の講習	22	377
合 計	36	626

11 救助出動件数及び人員

事故種別 件数及び 人員	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	事 建 物 等 の	事ス酸欠	爆発事故	事 そ の 他 の	合 計
件数		6			1	2			4	13
出動人員		50			9	17			26	102
活動人員		25			9	7			26	67
救助人員		6			1	2			4	13

7 消防団



1 枕崎市消防団の配置人員

令和7年4月1日現在

分団名	班名	団長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班長	団 員	合計	
団本	部	1	1				1	11	14	
中央纪	分団			1	1	1	4	21	28	
木原名	分団			1	1	1	2	15	20	
	大	屈			1		2	9		
立神分団	塩			1			1	8	43	
	大	家					1	9	40	
	田	†				1	1	9		
	自動車	狂					2	11		
桜山分団 桜山分団	東					1	1	10	43	
仮四刀団	西			1			1	8	10	
	道	野			1		1	6		
	田布川			1	1		1	15		
金山分団	金 [Ц				1	1	7	31	
	木口屋						1	3		
	俵積田					1	1	7		
	板	敦					1	6		
別府南分団	東白沢				1		1	5	38	
	西白泺			1			1	7		
	Щ	奇					1	5		
	中,	亰			1		1	8		
	茅!	野					1	5		
別府北分団	駒	水		1			1	5	36	
	真	茅				1	1	5]	
	下「	Ц					1	5		
人員	合 計	1	1	7	7	7	30	200	253	

2 分団別年齢及び勤続年数

令和7年4月1日現在

			年	Ξ.	K K	於		勤	続	年	数
分団名	団員数	最	少	最	高	平均	最	少	最	高	平均
		年	月	年	月	歳	年	月	年	月	年
団本部	2	67	8	70	2	68.9歳	44	0	45	0	44. 5年
団本部(女性)	12	31	7	55	4	47.9歳	4	10	12	0	10.4年
中央	27	29	5	63	9	45.1歳	0	0	38	0	10.8年
木 原	20	21	5	66	2	42.4歳	0	0	42	7	12.9年
立神	43	24	0	64	6	41.3歳	0	0	41	0	9. 7年
桜山	43	26	2	62	4	47.7歳	0	0	35	0	17. 2年
金 山	31	41	3	66	5	57.7歳	4	10	42	0	19.9年
別府南	38	23	9	58	11	46.0歳	0	5	30	0	13.0年
別府北	36	27	4	61	6	42.8歳	0	0	40	0	11.9年
計	252	21	5	70	2	46. 3歳	0	0	45	0	13.8年

3 消防団車両一覧

令和7年4月1日現在

			車	両			<u>年4月1日現代</u> ポンプ
分	団	車名	登録番号	車 種	取得年月日	機種	取得年月日
中	央分	ポンプ車	鹿児島 800 せ 23-22	トヨタ	令和5年3月14日	森田(A-2)	
木	原分	ポンプ車	鹿児島 800 す 18-91	日野	平成21年9月2日	日機 (A-2)	
立	神分员	ポンプ車	鹿児島 800 せ 29-31	トヨタ	令和6年1月26日	森田 (A-2)	
	田中野	E 軽積載車	鹿児島 880 あ 17-95	スズキ	平成28年11月10日	トーハツ (B-3)	平成21年5月22日
	塩屋耳	E 軽積載車	鹿児島 880 あ 14-82	ダイハツ	平成26年12月19日	トーハツ (B-3)	令和4年10月14日
	大塚耳	E 軽積載車	鹿児島 880 あ 16-57	ダイハツ	平成27年12月4日	トーハツ (B-3)	令和元年9月6日
桜	山分	ポンプ車	鹿児島 800 せ 29-30	トヨタ	令和6年1月26日	森田 (A-2)	
	桜山東珠	E 軽積載車	鹿児島 880 あ 14-86	ダイハツ	平成26年12月19日	トーハツ (B-3)	令和6年10月24日
	桜山西珠	E 軽積載車	鹿児島 880 あ 16-55	ダイハツ	平成27年12月4日	トーハツ (B-3)	令和元年9月6日
	道野	E 軽積載車	鹿児島 880 あ 17-97	スズキ	平成28年11月10日	トーハツ (B-3)	令和3年9月8日
金	山分	ポンプ車	鹿児島 800 さ 35-08	トヨタ	令和6年11月29日	森田 (A-2)	
	金山耳	E 軽積載車	鹿児島 880 あ 14-85	ダイハツ	平成26年12月19日	トーハツ (B-3)	平成13年12月10日
	木口屋理	E 軽積載車	鹿児島 880 あ 16-56	ダイハツ	平成27年12月4日	トーハツ (B-3)	平成13年12月10日
別	府南分员	ポンプ車	鹿児島 800 す 60-29	いすゞ	平成27年2月10日	森田 (A-2)	
	板敷珠	E 軽積載車	鹿児島 880 あ 16-58	ダイハツ	平成27年12月4日	トーハツ (B-3)	平成29年5月29日
	山崎野	E 軽積載車	鹿児島 880 あ 14-83	ダイハツ	平成26年12月19日	トーハツ (B-3)	平成30年7月23日
	東白沢珠	E 軽積載車	鹿児島 880 あ 17-96	スズキ	平成28年11月10日	トーハツ (B-3)	平成12年12月27日
	西白沢珠	E 軽積載車	鹿児島 880 あ 17-94	スズキ	平成28年11月10日	トーハツ (B-3)	令和5年11月30日
別	府北分日	ポンプ車	鹿児島 800 せ 23-23	トヨタ	令和5年3月14日	森田 (A-2)	
	茅野耳	E 軽積載車	鹿児島 880 あ 14-84	ダイハツ	平成26年12月19日	トーハツ (B-3)	令和2年10月13日
	下山事	E 軽積載車	鹿児島 880 あ 16-54	ダイハツ	平成27年12月4日	トーハツ (B-3)	平成30年7月23日
	駒水耳	E 軽積載車	鹿児島 880 あ 17-93	スズキ	平成28年11月10日	トーハツ (B-3)	平成21年5月22日
	真茅琲	E 軽積載車	鹿児島 880 あ 17-98	スズキ	平成28年11月10日	トーハツ (B-3)	令和2年10月13日
予	備	ポンプ車	鹿児島 800 さ 8-03	日野	平成11年11月19日	日機 (A-2)	
防	災活動耳	車 軽ワゴン車	鹿児島 880 あ 9-08	スバル	平成23年2月24日		
積	載	軽積載車	鹿児島 880 あ 14-87	ダイハツ	平成26年12月22日		